

## ひろしのエネルギーについての考え

まず原子力については、使用済み燃料などの『最終処分場』が1カ所も無い事が考えなければならない大きな問題のひとつで、全国どこでもその候補地になっただけで、住民は猛反対すると思います。この問題は、原発が必要と思われる方も、反論出来ない問題だと思います。

そして、原発は、中越沖地震でも火災事故が起きており、そもそも原発は人が住んでいない地区に建設したという事を裏返せば、人が住みづらい、安全性の低い地区に造ったと言えないでしょうか。再稼働の是非が話題になっていますが、私はどこをまず廃炉していくのかを、次の災害が起こるまでに急ぐ必要があると思いますし、浜岡・東海第2の廃炉化は急ぐべきだと思います。国民の為はもちろんですが、国際的にも2度と事故は起こせないので。

そして、火力発電の多くは石油を使用していますが、石油資源に依存しないよう、ロシアからのガスパイプラインも必要かも知れません。

自然エネルギーについては、地熱発電を国内各地に早急に整備すべきだと思います。太陽光が注目されていますが、太陽熱も注目すべきだと思います。

埼玉県としても、県内の自然エネルギー導入を急速に進めていこうとしており、私は県議会でその担当委員会(自然再生・循環社会対策特別委員会)に所属していますので、詳しくは、改めて報告します。

そして、節電・省エネですが、何よりも産業がダメージを受ける事は日本の発展の為に避けなければならないと思います。しかし、思い起こせば、1970年米国で排ガス規制法が制定された時、どの自動車メーカーもその規制をクリアする車の開発は不可能に近いとされた中で、初めて開発したのは日本・ホンダでした。今後の資源小国日本では、私達消費者も含め、更なる省エネ・温暖化対策と、自然エネルギー導入を考えて生きていく必要があると思います。今回の震災を機に、未来の子供達の為に私達大人がすべき事は、“生活習慣の見直し”なのだろうと強く思いました。

中川ひろしホームページ <http://hnsayama.life.coocan.jp/> 『中川浩』で検索

↑ひろしの毎日の活動・発言を公開中。脱原発・自然エネルギー政策についても紹介。

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

県議会議員

**中川ひろし**

県議会 民主党・無所属の会

電話090-3310-9234 FAX2958-8643

kids-dream@docomo.ne.jp hnkgw@nifty.com

〒350-1306 狭山市富士見1-3-6 クレアメゾン601



ひろしアドレス

献血・骨髄バンク登録会 狭山市役所にて 8月20日(月) 9時半~4時

※『震災がれき』アンケートの結果については、6月26日の新聞折り込みでお伝えしましたが、ご覧になっていない方は、ご連絡下さい。

# ひろし新聞 138号「国民判断」編

県議会議員

発行者 中川 浩 45才

県議会活動報告

## 原子力発電・電気料金値上げ

## ・自然エネルギー特集

### 皆さんは「原発」についてどう思いますか？

#### 政府が国民の意見を募集(8月12日まで)

原発事故により、現在、政府は今後のエネルギー政策について、原発・自然エネルギーの割合などをどうするか、国民の意見を8月12日(日)18時まで募集しています。HPをご覧になれる方は『話そうエネルギーと環境の未来』と検索すると、政府の説明資料・意見募集(パブリック・コメント)の専用様式(HPから入力・FAX・郵送)があります。この新聞折込にも政府への郵送・FAX用紙を1枚添付してありますが、更に必要な場合には、市内各公民館にも、専用用紙を置いてもらいましたので、ぜひご利用下さい。

今回のこの〈国民意見募集〉で、皆が1度立ち止まり、今後の事を考え、行動する機会になればと思っています。そのような中でこの新聞では、私が直接見聞きして来た事について、報告させていただきます。

## 東京電力幹部との意見交換報告

## 青森県六ヶ所村「核燃料再処理施設」視察

## 東京電力幹部との意見交換会(5月19日)

**東電幹部** 福島原発の廃炉に向けては、大きな課題があります。東電は、更なる経営の合理化が必要で、来年度には希望退職を行います。東電は、もう後がありません。再び信頼頂けるように取り組んでいきます。電気料金の値上げ案の中で、燃料の購入費については、埼玉県知事からも、購入国から足元を見られているのではないかと指摘を頂いています。長期的になりますが、見直しをしていきます。家庭の電気料金の値上げは、1時間あたり、120kW・300kW・350kWで料金が違い、350kWは、300kWを超えた分だけ24.13円がかかります。東電のHPで、値上げ額の試算、節電・節約方法を紹介しています。今年8月の電力供給量は、5771万kWを確保しています。夏の半年需要は5360万kWです。一昨年のは猛暑では5520万kWでした。

**ひろし** 日本には放射性廃棄物の最終処分場が1か所もありませんが、その事をどう考えますか？

**東電幹部** 原子力発電の対応方針は、政府の検討を踏まえて検討しますが、私の考えは、ウランの利用効率が高まる再処理路線が必要だと思います。

**ひろし** 東電社員の給与削減後も、幹部の年収は1300万円と報道されていた真意をお聞かせ下さい。

**東電幹部** それはその通りです。常務取締役以上がその対象です(なお、この日以降、見直しをしたかどうかは不明)。

**他の議員** 今回の福島原発事故は政府側にも責任があると思いますが、どう思われますか？

**東電幹部** 今後の原子力発電の見直しにあたって、政府側の責任について意見を言っていきたいと思っています。

## 青森県六ヶ所村、核燃料再処理施設視察

5月28日、青森県六ヶ所村にある核燃料再処理施設を視察し、まず、日本原燃㈱ 取締役副社長さんなどから説明を受けた後、中央制御室・使用済み燃料プール・高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターのガラス固化体貯蔵現場を建物内の窓越しに見て、ウラン濃縮工場・低レベル放射性廃棄物埋蔵センターを回りました。



核燃料再処理施設にて副社長さんから説明を受ける(右がひろし)

「ここにはプルトニウムがあるので、9.11の米国同時多発テロ以降、武装警官が常駐している。社員は2450人。

この施設を建設した時、数百万年前からの断層を調査し、断層が無い事が分かったが、離れた所にある断層が

つながっていると仮定して建物の設計をした。国際原子力機関IAEAの日本人以外の査察官が常駐している。

再処理工場の建設は、韓国・中国がやりたがっているが、日本には再処理を行う事を「勝ち得た権利」がある。

この再処理施設は、原発が40～50基無いと採算が合わない。

高レベル廃棄物はフランスから100本強戻って来ており、今後800本戻って来る。

MOX燃料(使用済み核燃料中に含まれるプルトニウムを再処理により取り出し、濃度を高めたもの)の加工工場は2016年3月に完成予定。

再処理された燃料は、100万キロワット発電する原発7基を10年くらい運転出来る量がある。

今後50年間で発生する低レベル廃棄物を埋設出来る施設がここにはある。

高レベル放射性廃棄物の最終処分場の確保について、副社長に質問しました。「高レベル廃棄物の最終処分場は、現在公募している。再処理をすれば、ガラス固化により、放射性物質の半減期を半分にする事が出来る」との事。

使用済み燃料がここには2900トン強保管されている。使用済み燃料のガラス固化試験が現在最終段階で、今年10月までに出来れば竣工させたい。

1人の人間が一生80年生きて、電気の半分を原子力発電を利用したとして、1人につき単1乾電池1つ分の大きさの核燃料を使う。

核燃料の3%が高レベル廃棄物になる。使用済み核燃料は、国内で年間千トン発生する。今までに2万6千トン発生し、うち9千トンは再処理済みで、1万4千トンがそれぞれの原発施設にある。

フランスでは2箇所再処理しており、日本はフランスを追いかけている。使用済み燃料を切って溶かすのは、フランスの技術だったが、日本人が出来るようになった。

中国は現在、原発は13基運転中で、30基建設中、168基建設する計画がある。

ここには33トンのプルトニウムがあるが、プルトニウム1トンの大きさは、みかん箱1つ分。

東日本大震災での福島原発は、安全上の配慮が足りないところがあった。

高レベル廃棄物は、400℃あり、100℃に下がるのに30年かかる。水を使っても外側しか冷えず、中心は熱いままなので、燃焼能力を下げるのは、時間をかけるしか無い。

ここは標高55mあり、予備電源・電源車両・水を注入する消防車があるが、原子炉は電源喪失して沸騰するまでに8分かかり、燃料プールの水が無くなるまでに1ヶ月かかるので、その間に対処出来る。

六ヶ所村には、全国の自治体の中では一番の風力発電がある。70基、約3万キロワットの発電をしている。風力発電は中国が世界一。」(以上、再処理施設での説明)。